



○ 次の(1)～(10)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましよう。



(1) 会社ではたらく。

(1)

く

(2) 十年後のみらいを想ぞうする。

(2)

(3) 百円玉こうかではらう。

(3)

(4) きずがなおる。

(4)

る

(5) しゅげいに関心をもつ。

(5)

(6) みずのりようが多い。

(6)

(7) バスのてい留所<sup>りゅうじょ</sup>で待つ。

(7)

(8) こなゆきがふる。

(8)

(9) 風がつめたくなる。

(9)

たく

(10) おまじないをとなえる。

(10)

える

(11) 町のしよくどうに入る。

(11)

📖 教科書下「わたしの研究レポート」(p 94)「まちがえやすい漢字」(p 102)

「初雪のふる日」(p 104)でたしかめましよう。

## 漢字・語句の復習「ことわざ・故事成語・ローマ字」



このページの答えは、次のページにあります。

**1** 「石の上にも三年」ということわざの意味を、ア〜エの中から一つ選んで、記号に○をつけましょう。

ア 何事もやってみないと、よさが分からないこと。

イ あることが得意な人でも、失敗することがあること。

ウ 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。

エ しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

**2** 「五十歩百歩」という故事成語の使い方として最もふさわしいものを、ア〜ウの中から一つ選んで、記号に○をつけましょう。

ア 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっ

ては、五十歩百歩だ。

イ 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝

できたのは、五十歩百歩だ。

ウ 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘

れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百

歩だ。

**3** 次の(1)と(2)の言葉を、例のように、ローマ字でいねいに書きましょう。また、(3)のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

(例) [いぬ]  
↓  
inu

(1) [たべもの]  
↓  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(2) [あさって]  
↓  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(3) hyaku  
↓  
[                  ]

漢字・語句の復習「ことわざ・故事成語・ローマ字」



答え

「答え」

1

エ しんぼう強くやれば、よい結果けっかが得えられること。

2

ウ

「五十歩百歩」  
少しの違ちがいはあっても、  
本質ほんしつ的・結果けっか的にはほとんど  
同じであること。

3

(1) [たべもの]

↓  
tabemono

(2) [あさって]

↓  
asatte

(3) hyaku

↓  
[ひやく]



「レッツ・トライ!!」

\* 1の問題の中にあっただ、

イあることが得意な人でも、失敗しがいすることがあること。

ウ 住み慣れると、そこが一番暮くらしらしやすくなること。

という意味を表すことわざを探さがしてみましよう。

\* 中国に伝わる古い出来事や物語がも  
とになっている、ことわざに似た短い  
言葉を「故事成語こじせいご」といいます。

次の故事成語の意味や、もともなった  
話を調べてみましょう。

・「百聞ひやくぶんは一見いっけんにしかず」

・「矛盾むじゆん」

・「漁夫ぎよふの利り」

